



書あり 師あり 友ありて

いざ いざ 最後の大会です！

学校長 平田 高之

運動部にとっては、今までの活動の総決算となる「2019年度 第59回明石市中学校総合体育大会」が、6月22日（土）・23日（日）27日（木）28（金）を中心に行われます。また、本校の部活動以外に、外部で活動をしている生徒も、同じように最後の大会が迫っています。

各部の抽選会が先週から行われて、対戦相手も決まり、いよいよ迫ってきたという緊張感があります。修学旅行の大宰府での班別行動で、男子が一生懸命御守を選んでいる中、同じ班の女子2名が待っていたので、「御守買わないの？」と尋ねたら、「私たちは神頼みではなく実力で頑張ります！」と力強い答えが返ってきたので、とても頼もしく感じました。しかし、校長としては、「生徒が体調を崩さず普段通りの力が発揮できますように！そして、いざという場面では力お力添えを!!」という思いをお願いをしました。保護者・地域の皆さま、大蔵中生へのエールをよろしく願います。

また、この総体については、3年生にとっては最後の大会となるため、保護者のご理解を得たうえで、期末テスト前の活動中止期間のうち、6月15日（土）17日（月）18日（火）の3日間については、エントリーメンバーのみ1時間程度の練習を特別に許可することとしています。実施する部活動から連絡がありますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

ネットの危険から子どもたちを守るために！

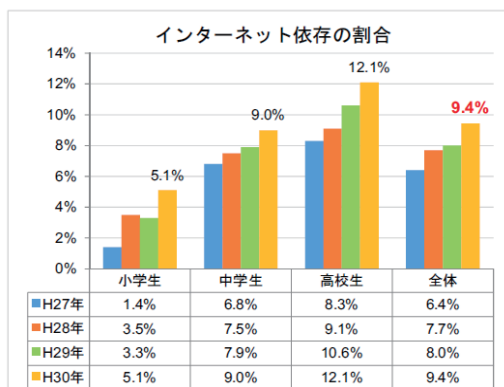
ネットには、利便性の反面、使い方によってはさまざまな危険が潜んでおり、未成年を巻き込んだ事件が全国的なニュースとなっています。兵庫県では平成27年度より、県内約4,400人の小・中・高校生を対象とした、日常のインターネット利用やその夢中度（依存度）を調査するアンケートを実施しておりますので、その結果の一部を紹介します。

1 兵庫県内の小・中・高校生のインターネット依存傾向について

アンケートの結果、小学生5.1%、中学生9.0%、高校生12.1%がインターネット依存傾向にあり、全体では9.4%の生徒が依存傾向にあることが分かりました。

右のグラフは、依存傾向にある生徒の割合を校種別にまとめたものです。小・中・高校生いずれも過去3年を上回る結果となり、依存傾向にある生徒が徐々に増えていることが分かります。

また、校種が上がるほどインターネット依存の割合が高くなることが分かりました。



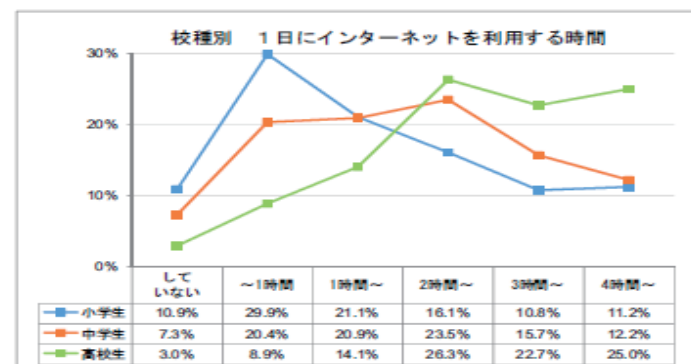
特に小学生はインターネット依存の割合は低いものの、伸び率が高いことから、インターネット依存の低年齢化が進んでいることが読み取れます。このことから、インターネット依存に対するより一層の対策が必要であることが分かります。

2 インターネット利用について

(1) 1日にインターネットを利用する時間

下のグラフは、1日にインターネットを利用する時間を校種別に示したものです。3時間以上利用している割合は、小学生22.0（昨年度15.9）%、中学生27.9（28.8）%、高校生47.7（34.4）%と校種が上がるほど利用時間が増える傾向が見て取れます。

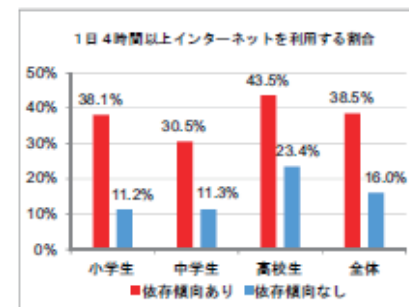
昨年度と比較し、中学生の利用時間があまり増えていないのは、スマホサミット等、一連のインターネット利用対策において中学生が中心となって活動していることも要因として考えられます。一方、小学生と高校生の利用時間は大きく増加しており、今後は、小学校、高校へのさらなる対策が必要と考えられます。



(2) 1日4時間以上インターネット利用する割合

右のグラフは、1日に4時間以上インターネットを利用する生徒の割合を依存傾向別、校種別に示したものです。

依存傾向にある生徒（以下、「依存傾向あり」と記載）とない生徒を比較すると、依存傾向ありの長時間利用が顕著に表れており、高校生では、依存傾向にない生徒（以下、「依存傾向なし」と記載）の約2倍、小中学生では約3倍となっています。



この結果は全県的なものですので、本校の状況や対応方法等は、夏休みまでに「生徒指導だより」でお知らせしたいと思います。その前に、「情報モラル講演会」を実施いたします。すでに、ご案内は送らせて頂いておりますが、兵庫県警察サイバーパトロールモニターでもあるNTT情報技術ネットワークの嶋田 亜紀様にお越し頂きます。生徒を対象とした講演だけでなく、教員・保護者対象の講演も、下記の通りして頂きますので、是非ご参加頂けたらと思います。

日時：6月24日（月）15:30～16:10 会場：北館3階 多目的室